

すみだじどうかいかん
フレンドリー・プラザ 墓田児童会館

ギフトバッグプログラム



ギフトバッグプログラム

すみだじどうかいかん とく 墨田児童会館の取り組みは・・・

自分がしてもらったら嬉しいことを
他の人にもしてあげよう。

そうすることで、いろいろな人の笑顔につながる。

自分のしたことによって相手が笑顔になれば、

自分自身も満たされた嬉しい気持ちになる。

一人ひとりの気持ちがつながれば、

それはやがて大きな笑顔の輪になる。

そういう想いを込めた取り組みです。

NPO法人

Glocal Gift Net とは？

(グローカルギフトネット)

「Glocal(グローカル)」とは、グローバルとローカルを合わせた造語で、日本の働きと世界の働きの懸け橋になりたいという願い。

「Gift(ギフト)」は、贈り物を様々な形で届けるための手助けをするという意味です。

「Net(ネット)」とはネットワークで、この団体が主役ではなく、横のつながりを大切にする平たい組織であることを表明しています。



墨田児童会館で行っていくプログラムの一つとして、私たち墨田児童会館の運営主体である社会福祉法人雲柱社内で関わり合いのあるNPO法人グローカルギフトネット(以下GGN)のギフトバッグプログラムとコラボレーションし、ギフトプログラムとして進めています。

ギフトプログラムを行うこと自体が最終的な目的となるのではなく、GGNと一緒に活動を進めていくことで、児童館に来ている子どもたちに地域の人や身の周りのことを考えるきっかけとなってほしいという想いがあります。自分のためではなく、誰かのために何かをする、何かをしたいと思える体験をすることで、その行動が自分にとっての喜びや実感につながると信じています。ギフトを作り、それを現地に送るという行動から「相手に笑顔を届ける」という点で GGN と墨田児童会館の考えが合致し、コラボレーションに至りました。

ギフトバッグをもらった子は笑顔になり、その様子を知ることで自分自身も笑顔になります。「笑顔から笑顔が生まれる」「笑顔と笑顔がつながる」という想いが生まれました。

GGN と協力し、ギフトプログラムを通しての活動を行いますが、今後も墨田児童会館では、「相手に笑顔を届ける」活動を児童館のプログラムに取り入れていきたいと思っています。

※この冊子に使われている写真の一部は GGN から提供していただいたものです。

ギフトプログラムとは？

ギフトプログラムとは、日本のサポートナーの方たちがギフトバッグを作り、GGN を通して東南アジアの子どもたちに心をこめて直接送り届けるプログラムです。

GGN の母体となる北米中心に活動している団体(スマリタンズ・ベース)では世界各国の子どもたちにギフトを届けていますが、GGN ではカンボジア・ミャンマー・タイ・フィリピン等の東南アジアの国々に届けています。

主にフィリピンやカンボジアのストリートチルドレンを中心的に、学校・孤児院・教会などにも送り届けられる予定になっています。

フィリピンの紹介

1ページでは墨田児童会館の取り組みの紹介をしましたが、次にその取り組みの一つである「ギフトプログラム」でギフトを届けるフィリピンの様子や日本とのつながりを紹介します。

① どんな言葉をつかってるの？

→英語とタガログ語を使っています。

～タガログ語の紹介～

「こんにちは」=「マガンダン タンハーリ」

Philippines
フィリピン

② フィリピンはいくつの島があるの？

→約7,100の島が集まってできています。

③ 日本からどれくらいでつくの？

→飛行機で4~5時間で到着し、

意外と近いのです。

時差：1時間



④ 学校はどうなっているの？

→日本：小学校(6年)中學(3年)高校(3年)大学(4年)

→フィリピン：初等教育(6年)中等教育(4年)大学(4年)

*家の手伝いができるように朝6時~12時までに学校に
登校する子と午後12時~6時まで通う子どもに分けられます。

⑤ 日本のバナナはフィリピンから届く！！

→日本でも人気のあるバナナですが、

そのほとんど(約90%)を

フィリピンから輸入しています。



⑥ 常に夏のようにあたたかい！！

→年間の平均気温は26°C前後。

どの時期でも

海で泳げます。



厳しい現状で暮らす子どもたち

グローカルギフトネットでギフトを届けている地域のうち、ここでは

2つの地域で暮らす子どもたちの様子を紹介します。1つ目はセブ島です。

セブ島は観光地として開発がすんでいますが、リゾート地から少し抜けると

家庭が貧しい為、路上でロウソクや花輪などを売って家計を助ける子や、路上で生活を

するストリートチルドレンもいます。ロレガという地域では、墓場で生活している人たち

がいます。また、公共墓地で墓を家具の様に使いながら生活しているところもあります。

ここでは墓石の上で寝て、ご飯を食べ、子どもたちは墓場を遊び場としています。



もう1つはマニラ市近くのパヤタスごみ処理場のごみ山で生活する子どもです。ここは、四ノ宮浩監督作品のドキュメンタリー映画「バスーラ」の撮影地にもなった場所です。ここではまだ10歳にも満たない子どももビン・プラスチックごみなど、お金に換えられるものを拾い集めて、生活の糧を得ています。一日中ごみをかき集めて、およそ100ペソ(日本円にして220円程度)ほどしか稼げないのが現状です。またこの付近に住む子どもたちはこのごみ山のすぐ脇に木製の簡素な家を建てて暮らしています。

このような地域で暮らす子どもたちの他にも、世界には一度もプレゼントをもらったことのない子どもがたくさんいます。

*フィリピンのすべての人がこのような状況におかれているわけではありません。

ギフトバッグについて

～ギフトバッグが届くまでの流れ～

墨田児童会館では、厳しい現状で暮らし、生まれてから一度もプレゼントをもらったことのない子どもたちに心を込めて直接プレゼントを送り届けるプログラムを GGN と協力して行っています。

では、みなさんが心を込めて用意したギフトバッグはどのような流れで現地の子どもたちに届けられるのでしょうか？（ギフトバッグの作り方については3ページ以降をご参照ください。）
1回のみで終わるのではなく、また次回のギフトバッグツアーに向けての取り組みとして、サイクルとなって続いていきます。

⑧報告を受ける

どのように現地の子どもたちに届けられたのか、自分たちの作ったギフトバッグについての報告を受けます。



①・児童館へギフトバッグを取りに行く

・单品で持って行く

（单品の場合は直接、児童館へ品物を持ってきてください）



⑦子どもたちが笑顔になる

ギフトバッグを受け取った子どもたちはとても喜びます。



②贈り物を詰める

（児童館では单品での参加の方から集まった品物をバッグに詰めます）



⑥現地に届く

ギフトバッグは船便で現地まで運ばれ、現地のスタッフや GGN のスタッフの方たちから手渡しされます。



③カードや写真を入れる

メッセージを書いたカードや贈る人・家族の写真やイラストなどを書き、バッグに入れる。



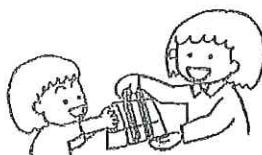
⑤GGNの方がギフトの中身を確認する

危険物などが入っていないか、入っているもののバランスが良いかをチェックします。



④児童館にギフトバッグを届ける

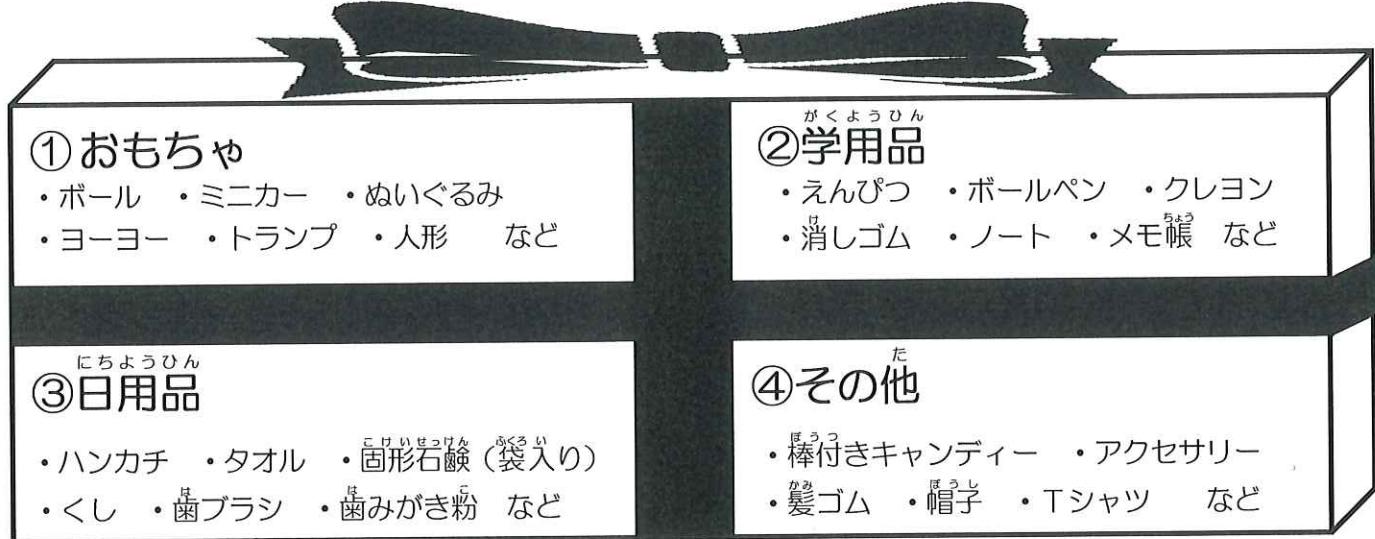
バッグの持ち手のひもをリボンなどで結び、封をしてください。



ギフトバッグの作り方

現地の子どもたちに渡すギフトバッグの中には、実際に何を入れたらよいのでしょうか。このページではギフトバッグの中身の説明や注意事項をご説明します。

ギフトバックを作る方は、下記の①～④のものをそれぞれ一つずつ以上と、
⑤～⑦をバッグの中に入れます。



- ⑤メッセージカードと贈った人の写真…誰が贈ってくれたかがわかると現地の子どもが喜びます。
⑥送料1000円…日本から船便で現地まで送るための郵送料です。
⑦ギフト用ラベル…ギフトを贈りたい子の年齢や性別の希望を記入した用紙を入れます。

注意事項（必ずお読みください）

現地では子どもたちが使うえんぴつやノートなどの学用品、歯ブラシやタオルなどの日用品がとても不足しています。そのため、GGNではギフトバッグを作る際に、必ず以下のものを入れていただきたいです。今回も同様に、以下のものを必ず入れていただいた上でギフトバッグを作っていただければと思います。よろしくお願いします。

また、ギフトバッグに入れてはいけないものについてもご説明します。

必ず入れていただきたいもの

- ②学用品…えんぴつ・消しゴム
ノートやメモ帳
③日用品…固体石鹼・歯ブラシセット
ハンドタオル



入れてはいけないもの

- ①食品類（上記のキャンディー類は除く）
②すでに使用したもの
③次のような可能性のあるもの
• 溶けやすいもの（飴、チョコレートなど）
• 濡れたり、割れたり壊れやすいもの
• 子どもに恐怖や害を与えるもの、危険なもの（武器・凶器、兵器を模したおもちゃ等、花火）
プレゼントを届ける先には戦争などで深く傷ついている子どもがいるかもしれません。



さんか しかた ギフトバックプログラムへの参加の仕方

すみだじどうかいがん 墨田児童会館のギフトプログラムへの参加の仕方は、下記のⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳの4種類の方法があります。

I. ギフトバッグ(セット)をつくる

専用のバッグに、プレゼントのセットやメッセージカード・写真・送料(1000円)・ギフト用ラベルを詰めて、児童館に持っていきます。(バッグは児童館にございますので各自で取りにきてください)

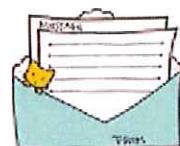
※バッグの中には5ページの「ギフトバッグの作り方」に記載されている
①②③の中から最低1品ずつ以上(必ず入れていただきたいものを含む)
+④その他のもの+⑤⑥⑦を入れます。

II. 単品でもってくる

ギフトバッグのセットで作るのは少し難しいなという方は単品からでもご参加いただけます
①おもちゃ・②学用品・③日用品の中から、子どもたちに贈りたいものを児童館にお持ちください。

III. 現地の子どもへメッセージカードを書く

ギフトバッグ(セット・単品)や募金での参加が難しいなという方は、現地の子どもたちへ向けて、メッセージカードを書いて送ることが出来ます。
メッセージカードが入っていないギフトバッグ(セット)の中に一緒に入れさせていただきます。



※英語の方が現地の子どもは喜びますが、日本語でもかまいません。
簡単な英語でもかまいませんので、ぜひお子様とご一緒に書いてみてください。

IV. 送料の募金をする

船便で現地まで送り、現地の子どもたちの手元にギフトバッグが届くまでに送料として
1000円かかります。品物だけでなく 送料の募金のみでの参加も大歓迎です。
※募金についての詳細は6ページをご覧ください。

注意事項 (必ずお読みください)

ギフトバッグはプレゼントです。品物は新品または未使用のものに限ります。

- ① ギフトバッグは何個でも作っていただいて構いません。
- ② 集められたギフトは、日本から船便で現地まで送り、子どもたちの手元まで運ぶため、送料なしでギフトバッグをご持参の場合は今回のツアー内の配布ができない可能性があります
ので予めご了承ください。

ギフトバッグ送料の募金のお願い

(必ずお読み下さい)

ギフトバッグを現地の子どもたちの手元に送るには送料がかかります。
その送料を皆様からの募金という形で集めています。

GGNの事務所には送料が集まらない
ために郵送できないギフトバッグが
積み重なって保管されています。

バッグ1つあたりの
送料は1000円です



一つでも多くのギフトバッグを現地の子どもたちに届けるためにも、
【ギフト + 送料 = 現地に届けられる】という仕組みをご理解ください。
そのため、ギフトバッグは作れないが、募金なら協力できるという方も募集しています。

⇒ギフトバッグを作られる方は、プレゼントが現地の子どもたちの元へ確実に届けられる
よう、出来る限り1000円を添えてお持ち下さいよう、お願いいいたします。
⇒送料が集まらないと現地まで郵送できないため、今回集められたギフトバッグも
次回のツアーに繰り越しになる可能性があります。
⇒ギフトバッグを作った方で送料を同封されていない場合も、次回以降のツアーに
繰り越しになる可能性があるので、あらかじめご了承下さい。

募金の参加の方法

金額は以下のの中から可能な範囲でご協力をお願いします。

①100円

②300円

③500円

④1000円

⑤1000円以上

募金をお持ちの方は受付職員まで声をお掛けください。

重ねがさねのお願いになりますが、
皆さんから届けられたギフトバッグが1つでも多く
現地の子どもたちの元に届けられるように、
送料の募金のご協力をお願い致します。



2021年度 クリスマスの取り組み

◇ ギフトバッグプログラム 実施期間

今回の「ギフトバッグプログラム」の実施期間についてお知らせします。

それぞれの実施期間をご確認の上、ぜひご参加ください。

・ギフトバッグの配布期間	11月26日(金) ~ 12月25日(土)
・バッグ(セット)の回収期間	11月26日(金) ~ 12月25日(土)
・ギフト単品の回収期間	11月26日(金) ~ 12月25日(土)
・募金の収集期間	11月26日(金) ~ 隨時募集中

今後の予定(今回のギフトが届くまで)

今回の期間内に皆様から集められたギフトバッグは下記のような日程で現地まで届けられる予定です。

ツアー報告で皆様のバッグが届けられた様子もお伝えしていきたいと思います。

児童館で検品し、単品で集めたものをギフトバッグに詰める：2022年1月上旬

NPO法人GGNの事務所に送付、検品、梱包：2022年1月中旬

フィリピンセブ島にギフトバッグを船で郵送：2022年1月以降

NPO法人GGNのスタッフやツアー参加者が
現地の子どもたちにギフトを渡す：2022年2月以降随時

墨田児童会館で報告：2022年夏頃予定

※新型コロナウイルスの感染状況やツアーの状況により予定が変更となる場合があります。 予めご了承下さい。

フレンドリープラザ墨田児童会館

お問い合わせ先

住所：墨田区墨田2-30-15

TEL：03-3614-7141